

經濟水道委員会

説明資料

令和3年3月16日
観光文化交流局

2022年12月末を竣工期限とする収支計画

(1) 事業費及び財源内訳

(単位：百万円)

区 分		金 額	内 容
事業費		50,500	・基本設計、実施設計 ・仮設工事、解体工事、本体工事、石垣工事
財源 内訳	起債	50,500	・観光その他事業債（充当率100%） ・収支相償する事業であることを確認するため、償還期間における収支計画を策定 ・天守閣にかかる収支を明確にするため、特別会計を設置

(2) 平成28～83年度の収支計画

ア 前提条件（全国型市場公募債の場合による試算）

区 分		内 容									
起 債	償還期間	40年（20年公募債、借換1回）									
	基金積立	当初 4年据置 毎年3% 借換 4年据置 毎年6%									
	償還利率	年0.665%（平成28年2月兵庫県発行実績）									
	年次割 （出来高）	28年度 0%、29年度 2%、30年度 5.5%、 31年度 17%、32年度 21.5%、 33年度 17.5%、34年度 23.5%、 35・36年度 各1%、37～42年度 各0.5%、 43年度 8%									
使用料		天守閣を整備するため、収支計画において、入場料を以下のとおりとした。ただし、市民については特別料金を設定する <table border="1"> <tr> <th>区 分</th><th>現 行</th><th>平成35年1月以降</th></tr> <tr> <td>市 民</td><td>500円</td><td>450円</td></tr> <tr> <td>市民以外</td><td>500円</td><td>1,000円</td></tr> </table>	区 分	現 行	平成35年1月以降	市 民	500円	450円	市民以外	500円	1,000円
区 分	現 行	平成35年1月以降									
市 民	500円	450円									
市民以外	500円	1,000円									
補助金		国及び県に対し要望をしていくが、現時点で確定的な収入見込額が算出できないため、計上せず									
寄附金		市民や企業等に対し広く寄附募集を募っていくが、現時点で確定的な収入見込額が算出できないため、計上せず									

イ 収入

(単位：百万円)

区 分	金 額	積算の考え方
使用料	101,545	・名古屋城全体の入場料収入のうち、75%を天守閣に充当 ・平成34年度(3か月) 700百万円(126万人分) - 平成35年度 2,720百万円(490万人分) - 平成36年度 2,448百万円(441万人分) - 平成37年度 2,204百万円(397万人分) - 平成38年度以降 2,032百万円(366万人分)

ウ 支出

(単位：百万円)

区 分	金 額	積算の考え方
公債償還金	60,565	・元金 50,500百万円 ・利子 10,065百万円
運営管理費	27,969	・平成27年度実績に基づき算出 ・平成28～33年度(天守閣竣工前) 各年度平均約93百万円を計上 ・平成34～83年度 各年度平均約548百万円を計上
集客促進費	200	木造復元にかかる周年事業
修繕費	3,086	平成83年度までの必要額
基金積立	9,725	支出を上回る収入について基金積立
計	101,545	

注 金額と積算の考え方は、単位未満の端数処理のため一致しない場合がある

